

平成28年度小水力等発電導入地方研修会「現地視察」

視 察 日	平成29年2月20日
視 察 内 容	新たに小水力等発電を導入する土地改良区等による県内の小水力等発電所の視察
土地改良区名	ひょうご水土里再生エネルギー推進協議会
参 加 者	23名

平成29年2月20日（月）ひょうご水土里再生可能エネルギー推進協議会会員23名が県内の小水力等発電所において視察研修を実施されました。

まず、午後1時より、東播用水土地改良区（三木市）が建設した三田市大川瀬にある大川瀬ダム小水力発電施設を視察されたのち、視察会場を多可町糶屋へ移し、午後2時40分より加古川西部土地改良区が建設した太陽光発電施設を視察されました。

当土地改良区職員3名が太陽光発電施設の概要説明、建設時の苦労話などを説明し、参加者から、『近隣に与える光害へ対応、太陽光（GIS）パネルの選定、日照時間の算定』などの質問を受け、当改良区が実施したプロポーザル方式による業者提案型のメリットなども説明しました。

また、建設を予定されている会員さんから「私達の土地改良区は、ため池の堤体に設置を予定している。糶屋の太陽光施設と同じように防草シートを敷き、管理の軽減を図りたい。」というお話もされていました。

本日視察に来られた参加者の皆さんから、再生可能エネルギーについて非常に興味を持たれているということが伝わってきました。今後も、ひょうご水土里再生可能エネルギー推進協議会を通じ、広く再生可能エネルギー導入に向けた取り組みが行われることを期待しています。

研 修 状 況

